

大分県高等学校文化連盟の沿革

1951	（昭和26）年 6月	大分県高等学校教職員組合の提唱により結成準備会を開催する。（14日）
	6月	結成大会を開催し、大分県高等学校文化連盟を結成する。（30日）
		演劇・音楽・美術・文芸・弁論・科学・職業の7部を置く。
1956	（昭和31）年 4月	文芸部の呼称を文芸・新聞部と変更する。
	6月	高文連会報を創刊する。
1961	（昭和36）年 5月	新聞部を文芸・新聞部より独立し、新聞部と文芸部とする。
	11月	第1回全九州高校美術展を開く。（別府市）
1962	（昭和37）年 5月	家庭部を職業部より独立し、家庭部と職業部とする。
1967	（昭和42）年 5月	社会部の加盟を承認する。
1968	（昭和43）年11月	高校発足20周年記念大分県高等学校文化祭を開催し、連盟歌を制定、発表する。
1971	（昭和46）年 5月	放送部の加盟を承認する。
1976	（昭和51）年11月	大分県高等学校文化祭（中央文化祭）の第1回大会を文化庁の視察を受け、竹田市で開催する。
1977	（昭和52）年 1月	各都道府県高等学校文化連盟と全国高等学校文化連盟の結成呼びかけを始める。
	7月	全国高等学校総合文化祭の第1回大会が千葉県で開催される。
1979	（昭和54）年 8月	全国高等学校総合文化祭の第3回大会を7日間大分県で開催する。
1980	（昭和55）年 8月	全国高等学校文化連盟結成のために、全国都道府県高等学校文化連盟連絡協議会が全国高等学校総合文化祭大会中の金沢市で開催される。
1982	（昭和57）年 5月	英語弁論部を弁論部より独立し、弁論部と英語弁論部とする。
1983	（昭和58）年 2月	九州地区高等学校文化連盟協議会の結成大会を別府市で開催する。
1984	（昭和59）年 5月	吹奏楽部、邦楽部、吟詠部を音楽部より独立し、音楽部、吹奏楽部、邦楽部、吟詠部とする。
1985	（昭和60）年 4月	『高文連集録』の第1号を発刊する。
	10月	全国高等学校文化連盟設立準備委員会が発足する。
1986	（昭和61）年 2月	全国高等学校文化連盟設立総会が開催され、全国高等学校文化連盟が結成される。副会長に大分県高等学校文化連盟会長が選任される。
1988	（昭和63）年 5月	英語弁論部の呼称を英語部に、邦楽部の呼称を日本音楽部と変更する。
1992	（平成 4）年 1月	九州地区高等学校文化連盟協議会が解消され、九州地区高等学校文化連盟が結成される。
1993	（平成 5）年 5月	囲碁、将棋の加盟を承認し、囲碁将棋部とする。
1994	（平成 6）年 5月	支部長を設置する。
1995	（平成 7）年 5月	吟詠部の呼称を吟詠剣詩舞部と変更する。
1998	（平成10）年 8月	大分県高校生日韓文化交流活動を韓国忠清南道高校と開始。
1999	（平成11）年11月	第1回高校生文芸道場（文化庁主催）九州ブロック大会（大分大会）を開催する。
2000	（平成12）年11月	創立50周年記念事業第25回大分県高等学校総合文化祭大分大会を開催する。
2002	（平成14）年 5月	囲碁将棋部を分離し、囲碁部、将棋部とする。
2008	（平成20）年 5月	各専門部会長を設置する。青少年赤十字部を設立する。社会部が活動休止となる。
2009	（平成21）年12月	第21回全国高等学校文化連盟研究大会（大分大会）を開催する。
2010	（平成22）年12月	創立60周年記念事業としてホームページを開設する。
2011	（平成23）年11月	創立60周年記念式典および第36回大分県高等学校総合文化祭別府大会を開催する。
2014	（平成26）年 5月	美術専門部を分離し、美術部、書道部、写真部とする。理事の呼称を専門委員長に変更。
2017	（平成29）年 5月	職業専門部については4班（商業班・工業班・農業班・水産班）を新たに設置し、 職業専門委員長に加えて、各班長を評議員会と専門委員長会の構成員とする。 バトン班を吹奏楽専門部に統合し、バトン班長を吹奏楽専門部の常任委員の一人とする。
2020	（令和2年） 2月	小倉百人一首かるた専門部を設立する。私学専門部を廃止する。
	5月	活動を休止していた社会専門部を廃止する。
2021	（令和3年） 11月	創立70周年記念第46回大分県高等学校総合文化祭別府・速杵・国東大会を開催する。
2022	（令和4年） 5月	大分県高等学校文化連盟事務局を大分西高校に固定化することが評議員会で承認される。
2023	（令和5年） 12月	第7回全九州高等学校総合文化祭大分大会を開催する。